

# ネットワークカメラ

## 設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

### お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。  
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性を充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

### △警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示してあります。この設置説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## SNC-DH160/DH260

IPELA Exmor HD

© 2010 Sony Corporation Printed in China



お問い合わせは  
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

## 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る。
- ・故障したまま破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

### 警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### △警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

### △注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



**△警告** 下記の注意を守らないと、火災や感電、落により死亡や大けがにつながることがあります。

**設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける**

特に壁に穴を開けたり、ケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

### 指定された接続ケーブルを使う

設置説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

### 指定された電源電圧で使用する

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

### 設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

### 製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

### 機器や部品の取り付けは正しく行う

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。

設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

### 接続ケーブルを傷つけない

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・接続ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- ・接続ケーブルに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- ・接続ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

### 不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いたところ
- ・振動や衝撃のかかるところ
- また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

### ケーブルを窓やドアにはさみ込まない

**!** 指示 ケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

### △注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

#### 分解や改造をしない

**!** 禁止 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

**分解禁止** 内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご依頼ください。

#### 直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

**!** 禁止 変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときはご注意ください。

#### ぬれた手で接続プラグを触ったり、レンズやスイッチなどを操作したりしない

**!** 禁止 ぬれた手で接続プラグを触ったり、レンズやスイッチなどを操作したりすると、感電の原因となることがあります。

#### 内部に水や異物を入れない

**!** 禁止 水や異物が入ると、火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

#### 指定した給電装置を使用する

**!** 指示 電源供給は、IEC802.3afに準拠した装置を使用してください。指定した装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となります。

#### 接続の際は電源を切る

**!** 指示 電源を入れたままで接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

#### 移動の際は接続ケーブルを抜く

**!** 指示 接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

#### 赤外線LEDを長時間見続けないでください。

**!** 禁止 本製品は目には見えませんが赤外線を発光しています。赤外線の熱効果により目を傷つけることがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

#### 保証書とアフターサービス

##### 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際に受け取ってください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

##### アフターサービス

###### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

###### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

###### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

###### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 使用上のご注意

##### ご使用の前に

- ・ケーブルだけを持ってカメラを持ち上げないでください。
- ・開梱してから、結露などがある場合には60分程度、放置後電源を入れてください。
- ・設置等の作業の前に、静電除去を行ってください。

##### データ・セキュリティについて

ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧・使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

本製品へのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。

・ワイヤレスLANをご使用にはセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合には弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記載されたデータの損失・修復の責任も負いかねます。

・諸事情による本ネットワークカメラに関するサービスの停止、中断については、ソニーは一切の責任を負いません。

・必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

・本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

##### 個人情報について

・本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

#### 接続ケーブルを傷つけない

接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・接続ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- ・接続ケーブルに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- ・接続ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

#### 不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いたところ
- ・振動や衝撃のかかるところ
- また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

・本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

#### 使用・保管場所について

非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- ・極端に暑いところや寒いところ(使用温度は-30°C ~ +50°C)
- ・暖房器具の近く
- ・強い磁気を発するものの近く
- ・強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- ・強い振動や衝撃のあるところ
- ・基板を手で直接さわらないでください。
- ・天候(雨など)によってフォーカスが合わない場合は手動で調整してください。

#### 放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

#### 輸送について

- ・持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- ・輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

#### 寒冷での使用について

・本機には、低温環境下においてもカメラ本体が動作するよう、ヒーターが内蔵され、内部温度が低くなると自動的に動作します。このヒーターによってドームカバーおよび外筐に付着した雪や霜を解凍することは出来ません。設置場所を充分に確認の上、ドームカバー部分に霜が溜まる、または吹付ける環境は避けてください。

- ・内部結露防止のためにシリカゲル(4-267-409-01)を購入される際には、お買い上げ店またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

#### 低温環境での起動・終了について

0°C以下の環境で起動すると、起動直後はカメラ本体システムが動作しないことがあります。その場合、ヒーターと赤外線LEDが動作して内部温度が上昇した後に、カメラシステムが起動します。正常な画像が得られるまでに1時間程度かかる場合があります。

#### お手入れについて

- ・レンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーマーで払ってください。
- ・外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- ・アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げにいためたり、表示が消えたりすることがあります。

#### カメラを屋外に取り付けるとき

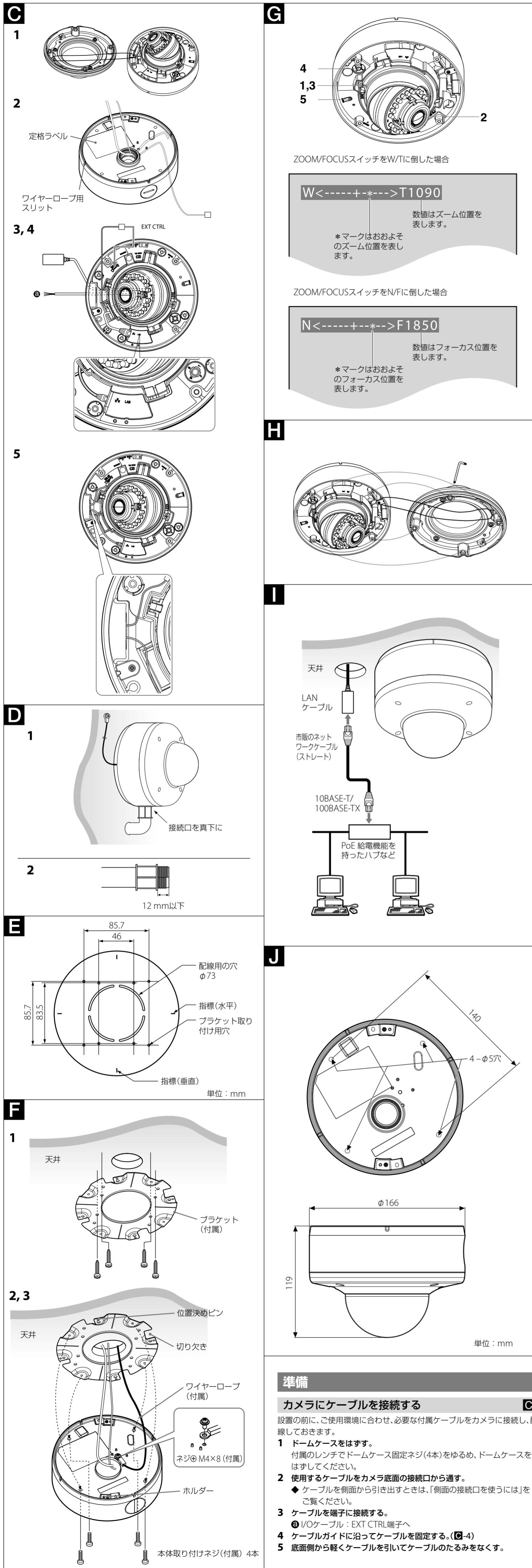
カメラ本体とドームケースをしっかりと取り付けてください。カメラ本体に湿気が入り込むないように、シリコングリス(シリコンシラントなど)で次の場所を密閉してください。カメラを取り付けるときは、なるべく湿度の低い環境で行なうことを推奨します。

- ・カメラ取り付け用ネジ穴(4か所)
- ・接続口(本体ケースの側面と底面)

異常や不具合が起きたときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

#### レーザービームについての注意

レーザービームは撮像素子に損害を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザ



**側面の接続口を使うには**  
出荷時は底面の接続口から電源ケーブルとLANケーブルが接続されています。側面の接続口から引き出したい場合は以下の手順に従ってください。

- 側面の接続口カバーをはずす。
- 各種ケーブルをコネクターからはずし、底面の接続口からケーブルを取り出す。
- 必要なケーブルを側面の接続口から差し込み、コネクターに接続する。
- ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。(G-5)
- はずした接続口カバーを底面の接続口に取り付ける。

**ご注意**

- 底面の接続口が汚れていると、接続口カバーがうまく取り付けられず、カメラ本体に雨などが入り、故障の原因になります。柔らかい布などで汚れを拭き取り、しっかりと締めて取り付けてください。
- 雨などを防ぐため、パイプやカバーを取り付けたあとに、シリコンシーラントなどで密閉してください。
- 雨などを防ぐため、壁などに縦に取り付けるときは、側面の接続口が真下に来るよう取り付けてください。(G-1)
- カメラ本体の内部が傷つかないように、パイプやカバーはネジ部分が12 mm以下のものを使ってください。(G-2)

## 設置

### △警告

### カメラの取り付け位置を決める

#### 取り付けネジについて

### △警告

### カメラを取り付ける

- 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。  
使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。
- 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。  
① 付属のネジ④ M4×8で、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。  
② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。  
カメラを壁面に設置するときは、ワイヤーロープ用スリットにワイヤーロープを通してください。(G-1)
- 付属の本体取り付けネジ(4本)でブラケットにカメラ本体を取り付ける。  
ネジには脱落防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落下しません。  
カメラ本体のホルダー(2か所)をブラケットの切り欠き(4か所)のうち2か所に差し込み、カメラ本体を時計方向に回して、位置決めピンをホルダーの穴にはめてください。これによりカメラ本体のネジ穴(4か所)とブラケットの突起の位置が揃います。突起は90°ごとに4か所ありますので、カメラの向きを4方向に設定できます。  
カメラのネジ穴に差し込んだ本体取り付けネジ(4本)を締めて、カメラ本体をブラケットに固定してください。

#### ご注意

### 撮影方向と撮影範囲の調整

- カメラヘッド固定ネジをゆるめる。
- カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。
- カメラヘッド固定ネジを締めてカメラを固定する。
- ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒して画角を合わせる。  
モニターパソコン画面にズームインジケーターが表示されます。
- Easy Focusボタンを押して自動でピントを合わせる。
- 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1~5を繰り返す。

#### ご注意

#### ご注意

### ドームケースを取り付ける

- ドームケースとカメラ本体を固定する。  
ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかりと締めます。

#### ご注意

### 接続

#### ネットワークへの接続

- 市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

#### コンピューターへ接続するには

- 市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

#### 電源の接続

カメラを電源に接続する場合、以下を遵守してください。

- IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE方式)

\* PoE: Power over Ethernet の略です。

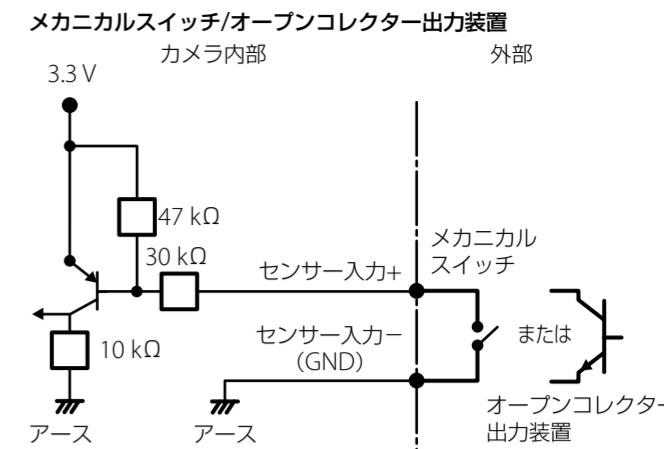
#### IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

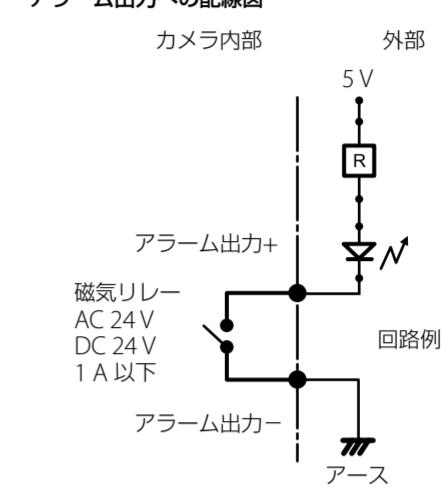
## I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

### センサー入力への配線図



### アラーム出力への配線図



## 主な仕様

### 圧縮方式

映像圧縮方式 JPEG/MPEG4/H.264

最大フレームレート

SNC-DH160 : H.264 : 30 fps (1280 × 720)

SNC-DH260 : H.264 : 30 fps (1920 × 1080)

### カメラ

赤外線LED 21 pcs

赤外線照射距離 SNC-DH160 : 25 m (50IRE)

SNC-DH260 : 18 m (50IRE)

信号方式 NTSCカラー／PALカラー切り換え方式

SNC-DH160 : 1/3型CMOS (Exmor)

有効画素数: 約139万画素

SNC-DH260 : 1/2.8型CMOS (Exmor)

有効画素数: 約327万画素

### 同期方式

内部同期

最低被写体照度

SNC-DH160 : F1.2/AGC 42 dB/50IRE (IP)

カラー : 0.50 lx

白黒 : 0 lx (IR オン)

SNC-DH260 : F1.2/AGC 42 dB/50IRE (IP)

カラー : 0.70 lx

白黒 : 0 lx (IR オン)

### レンズ

3.1 mm ~ 8.9 mm

F1.2 ~ F2.1

SNC-DH160 : 1280 × 1024のとき

垂直 : 67.4° ~ 25.0°

水平 : 85.4° ~ 31.2°

SNC-DH260 : 1920 × 1440のとき

垂直 : 65.2° ~ 24.2°

水平 : 88.5° ~ 32.3°

最短近接撮影距離 300 mm

### インターフェース

LANポート 10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション (RJ-45)

I/Oポート センサー入力 : ×1、MAKE接点、BREAK接点

アラーム出力 : ×1 (最大AC/DC 24V, 1A) (メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁)

### その他

電源電圧 IEEE802.3af準拠 (PoE方式)

消費電力 最大 12.9 W

使用温度 (IEEE802.3af PoE方式)

電源投入時 : -20°C ~ +50°C

通電動作時 : -30°C ~ +50°C

保存温度 -20°C ~ +60°C

動作温度 20% ~ 80% (結露無きこと)

保存湿度 20% ~ 95%

外形寸法(直径) 166 mm × 119 mm (突起部含まず)

質量 約 1.32 kg (ケーブルとブラケット含まず)

付属品 CD-ROM (ユーザーガイド、付属プログラム)(1)、ブラケット(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、本体取り付けネジ(4)、ネジ④ M4×8 (1)、I/Oケーブル(1)、LANケーブル(1)、レンチ(1)、設置説明書(本書)(一式)

### 別売アクセサリー

天井埋め込み金具 YT-ICB45\*

\* 天井埋め込み金具の左右金具の固定ネジを、図の位置に固定してお使いください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

### 定期点検のお願い

本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただきため、定期点検をお願いします。

外観上は異常がなくとも、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。

◆ 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

### 補修用部品の保有年数

補修用性能部品は製造打ち切り後、7年間保有します。